DEPARTMENT OF COMPUTER SCIENCE

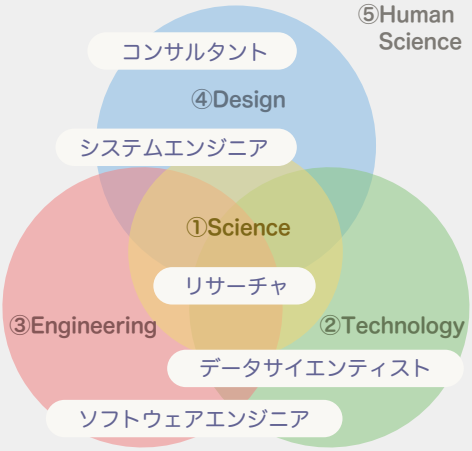
情報科学科

教育理念

多様な専門分野で切り拓かれた知識・技術を、革新的な情報技術(IT)でコーティングすることによって汎用化し、様々な他分野へ展開可能にする応用学問分野 ― それが「情報科学」の本質です。情報科学が、知識と技術、技術とシステム、システムと人、人と企業、企業と世界をつなげていきます！

情報科学科では、IT における広い知識と高い専門性の修得を通して、「世界（ヒト、モノ、コト）をつなぐ基礎力」を育成します。人間や社会と調和した情報システムを創造する能力の研鑽により、文工融合の理念で「世界をつなぐ応用力」を開発します。

世界をつなぐ情報科学の5つの技術要素



情報科学によって世界が有機的につなげられ、新たな製品・システム・サービスが次々と実現されていきます。情報科学が、人を、企業を、社会を、そして地球を機能拡張します。

この「世界をつなぐ力」を構成する技術要素が、① Science に関する第 1 レイヤ、② Technology、③ Engineering、④ Design が融合的に相互連携する第 2 レイヤ、⑤ Human Science を担う第 3 レイヤから成る「情報科学の 5 要素」です。

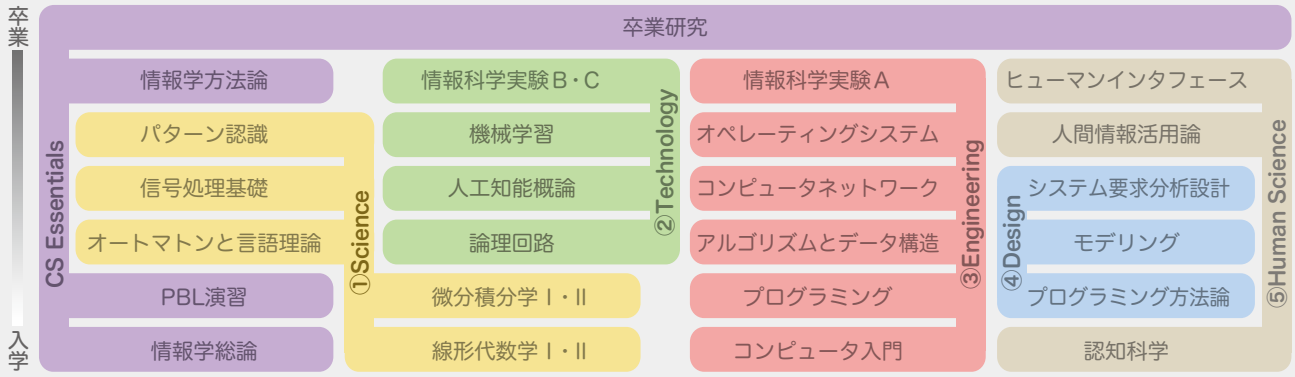
研究テーマは、情報科学の基礎から応用まで、多彩な研究分野をカバーしており、学外の研究機関や企業との共同研究も幅広く実施しています。

情報科学科の教育は、情報科学の 5 要素を効果的に吸収できるように設計されています。情報科学を自在に操る人材が世界を変えていきます。文工融合のこの環境で、情報科学の無限の可能性にチャレンジしてください。

カリキュラムの特徴

情報科学の進化は急激で、その領域が爆発的に広がり続けています。情報科学科では、この進化に対応してカリキュラムを発展させており、コンピュータ科学を軸に、最先端の情報科学も横断的に学ぶことができます。

情報の数理的側面の学習から始め、IT の中核要素（ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、データベース）は少人数グループワークでの実験・演習を通じて理解とスキルを深めます。卒業研究を核とするエッセンシャル科目では、知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題探求力、問題解決力、コミュニケーション能力などの総合的な育成を行い、高度な研究開発にも従事できる応用力の修得を目指します。学生の半数が大学院に進学しています。



研究室情報の入手先 情報科学科の研究室の詳細は、以下のWEBページをご覧ください

情報科学科 教員／研究室紹介ページ https://www.inf.shizuoka.ac.jp/labs/science.html